

西ノ前遺跡公園「女神の郷」開園



▼問い合わせ／
舟形町教育委員会教育課社会教育係
☎(29) 8411

8月5日、西ノ前遺跡公園「女神の郷」の開園式が行われました。この公園は、西ノ前遺跡の保存とともに、町の誇りとして再認識してもらうこと、そして新たな憩いの場の創出を目的に整備されました。園内は遺跡エリア、水場エリア、駐車エリアの3つのエリアに分かれています。なかでも、遺跡エリアには実物の5倍の大きさ(高さ2.25m)の縄文の女神像や、平成4年に行われた西ノ前遺跡の発掘調査の概要などがわかる看板などが設置されています。開園式には約150名が参加し、神事後、猿羽根太鼓保存会による和太鼓の演奏や餅まきが行われ、開園を祝いました。

その後、舟形中学校に会場を移し、民俗学者である学習院大学の赤坂憲雄教授による記念講演会が行われました。また、B&G海洋センターでは、西ノ前遺跡から出土した土器や石器のほか、3Dプリンターで再現した全国の国宝土器が展示されました。



8月5日、女神の丘(西堀地内)で第6回縄文炎祭が開催されました。舟形中学校の生徒や縄文体験講座の参加者が事前に作った土器や土偶等の野焼きのほか、露店や女神誕生祝打上げ花火なども行われ、大いににぎわいました。

広報 ふながた 8

もくじ ~Contents~

- p3..... ふなびく
- p4..... 舟形町成人式・ふながたのアスリートを紹介
- p6..... まちのわだい
- p8..... ふれあい広場
 - ・やまがた百名山「猿羽根山」
 - ・おはがき紹介コーナー
- p10... 青いシグナル、ぽっぽ舎通信
- p11... 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓
- p12... 第37回ふながた若鮎まつり

町長コラム

縄文の女神の日

8月4日は「縄文の女神の日」、翌5日は西ノ前遺跡公園「女神の郷」の開園式、「縄文の女神まつり」が開催されました。「縄文の女神」を含む、国宝指定5体の土偶のレプリカを展示、また、多くの聴講者が参加し、学習院大学の赤坂憲雄教授による記念講演会などが開催されました。その後、聴講した舟形中1年生たちと町長との意見交換会が行われました。「なぜ、舟形町から出土したのに舟形町に無いの。」「『女神』を使った物産品を作ったら。」「もつともつと『女神』をネット等で発信すべき。」「里帰りをするためには、何人の署名が必要なの。」「里帰りするための条件はあるの。」「など、子どもたちから「縄文の女神」に対する熱い想いをいただきました。必ずや里帰りできるようにがんばります。また、8月4日は、町戦没者追悼式が行われました。戦争の犠牲となられた272名の方々に、謹んで哀悼の誠を捧げます。戦後72年が経過し、戦争の悲惨な記憶が薄れる中、そして非常に不安な世界状況の中だからこそ、私たちは世界平和を願い、不戦を誓わなければなりません。

森 富広

